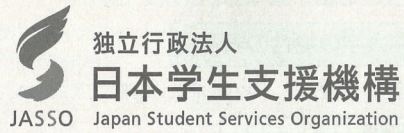


2021年度
スカラネット入力下書き用紙
【貸与奨学金のみ申込み用】
(大学・短期大学・専修学校専門課程)



貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。
在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方の申込みを希望する場合は、給付奨学金案内に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与併用申込み）用】」を使用してください。

インターネットによる奨学金申込み（スカラネット）にあたっては、「貸与奨学金案内（大学等）」（以下「奨学金案内」）を熟読し、申込内容を保護者（親権者又は未成年後見人）と相談して決めてください。
「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを確認した上で日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報一覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどして、保管してから「送信」ボタンを押してください。なお、「送信」ボタンを押した後に内容を訂正することはできません。

氏 名	学籍番号	学部・学科・分野
和光 太郎	21E000	経済経営学部

入力の際に必要な項目です。
学校の担当者に必ず正しい名称を確認してください。

受 付 番 号									

入力が完了し「送信」ボタンを押した後に、受付番号が画面に表示されます。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

以下の3点は、必ず手元に用意してください。

- ・学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- ・奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子15ページに貼り付けてください。）
- ・マイナンバー提出書（緊急採用・応急採用の申込みを除く）



スカラネット用ホームページアドレス（URL）<https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間 8：00～25：00（最終締切日の受付時間は8：00～24：00）

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、入力開始時間には注意してください。（入力時間の目安：30分～1時間）

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、「奨学金案内」40ページ「(ウ) 文字入力」を参照して文字を入力してください。

ログイン
あなたの識別番号（ユーザID）とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押してください。
(注)パスワード入力の際は、黒丸記号での表示になります。入力が入力できない場合は、入力した文字を目で見て確認できるように、最初にユーザID欄に入力し、それをコピーして貼り付けてみてください。

ユーザID

「確認書兼同意書」の提出
※給付奨学金の申込みにあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に、「貸与申込条件等」を「給付申込条件等」に読み替えてください。
あなた（あなたが未成年（20歳未満）の場合は、あなたと親権者または未成年後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。
・貸与申込条件等
・個人信用情報の取扱いに関する同意条項
※「個人信用情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報が個人信用情報機関に登録される等、
○提出しました。
○提出していません。
下の「規程等を表示」ボタンをクリックし、
了承する場合のみ、申込を行ってください。
※規程等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。
次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

規程等を表示
了承します
次へ

「提出していません。」を選択した場合はスカラネットの次の画面へ進むことができません。
学校に「確認書兼同意書」を提出した後、再入力してください。

規程等の表示を行わないと、次の画面へ進むことができません。

「了承します」にチェックを入れないと、次の画面へ進むことができません。

規程等を表示し、「了承します」にチェックを入れると「次へ」ボタンを押すことができるようになります。

奨学金申請（学校）の選択

あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

入学

課程：大学の場合の表示例

- 申込み奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。
- (1) 定期採用 (1次又は2次)
- 現在在学している大学の奨学金を申込みることができます。
- (2) 要計費採用 (給付奨学金のみ)
- 生計維持者に特定の事由が生じたことと家計急変し、急変後の収入状況が地方税情報に反映される前、支援を要する観点から申込み込むことができます。
- 学校で申込資格を確認してください。
- (3) 緊急採用 (貸与奨学金のみ)
- 過去1年以内に生計を維持している人が失業、破産、倒産、病氣、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込み込むことができます。
 - 学校で申込資格を確認してください。
- (4) 第二種奨学金 (短期留學)
- 国内の学校等に在籍中に海外の大学等へ短期留學する人は申込みすることができます。
- 現在、日本学生支援機構の他の奨学金を貸与中の場合は、その奨学金の採用年度によって申込みの条件が異なります。学校で申込資格を確認してください。

マイナンバー提出書情報

「マイナンバー提出書」に印字されている申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。

注1) パスワードの入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

注2) 「マイナンバー提出書」についての注意事項

- 奨学金の申込みには、あなたとあなたの生計維持者（原則父母）のマイナンバーの届出が必要です。
- 「マイナンバー提出書」の提出先は学校ではありません。指定の送付先（日本学生支援機構）へあなたから直接送付してください。

◆この申込IDが完了した後は、「マイナンバー提出書」に必要な証明事項と合わせて、専用封筒を使って速やかに（この申込ID後、週以内）に交付（提出）してください。

※マイナンバー提出書の見本を表示します

見本を表示

記入しない

申込ID

パスワード

マイナンバーの提出

マイナンバー提出書の提出が遅れると採用が大幅に遅れたり、採用できなくなったりする場合があります。

スカラネット入力後1週間以内に郵送できるよう、必要な書類は事前に用意してください。

（マイナンバーの提出方法・具体的な確認書類の詳細については、配布している「マイナンバー提出書」のセリットに確認してください）

1/8

A-日本学生支援機構奨学金の案内

- 第一種奨学金
無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
- 第二種奨学金
利子付きの奨学金（在学中は無利子）で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

2

B-暫時的

日本学生支援機構理事長 殿

私は貴機構奨学金の申込みにあたり、学校に提出した「確認書兼同意書」にしたがい、奨学生に採用決定後は速やかに「返還誓約書」を提出し、貸与が終了した後は滞りなく返還すること及び以下の申込み記載事項については正しく記入することを誓約します。

誓約日 令和 3 年 4 月 10 日

氏名（金角漢字） 知光 太郎

氏名（金角カナ） 727 907

生年月日（和暦）（半角数字） 平成 23 年 4 月 16 日

姓 知光

名 太郎

姓（金角漢字） 知光

姓（金角カナ） 727

名（金角漢字） 太郎

名（金角カナ） 907

<参考>

生年月日の入力を確認と、正しく成年判定を行うことができませんので注意してください。

和暦	西暦	和暦	西暦
6 1994	7 1995	11 1999	12 2000
8 1996	9 1997	12 2001	13 2002
10 1998	11 1999	14 2002	15 2003

国籍

国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。

※国籍が「日本国籍以外」を選んだ人は、在留資格の証明書類を学校へ提出する必要があります。

※在留資格が「特定者」又は特別永住者の場合は、在留期間（満了日）の入力は不要です。

在留資格

在留期間（満了日） 西暦（半角数字4桁） 年 月 日

在留資格が「特定者」の場合、日本に在住する意図がありますか。 ○はい ○いいえ

※誓約日は以後修正することができます。

2/8

C-奨学金申込情報

1. あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。

(a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ記入してください。

(1) 第一種奨学金のみ希望します。

(2) 第二種奨学金のみ希望します。

(3) 第二種奨学金のみ希望します。

(b) 併用貸与を希望する人のみ記入してください。

(4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。

(5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合第一種奨学金を希望します。

(6) 併用貸与を希望するが、第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。

(7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。

(c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ記入してください。

(8) 第二種奨学金の貸与を受けているが、第一種奨学金への変更を希望します。

(9) 第一種奨学金の貸与を受けているが、第二種奨学金への変更を希望します。

(10) 第一種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。

(11) 第二種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。

(12) 第一種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。

(13) 第二種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。

(14) 第一種奨学金の貸与を受けているが、併用貸与への変更を希望します。

※(12)は次ページ

上記 (8)、(9)、(10)、(11)、(13)、(14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。

奨学生番号

奨学生番号 (半角数字) 例: 821 04 999999

【(10)、(11)、(13)、(14)を選択する人】

①既に第一種、第二種奨学金のどちらかを貸与を受けているが、併用貸与を希望する場合は、(10)又は(11)を選択してください。併用貸与又は第二種奨学金を希望する場合は、(10)又は(11)を選択してください。併用貸与又は第二種奨学金を希望する場合は、(10)又は(11)を選択してください。併用貸与又は第二種奨学金を希望する場合は、(10)又は(11)を選択してください。

②希望する併用貸与への変更が不採用だった際に、現在貸与を受けている奨学金とは異なる種類の貸与奨学金への変更を希望する場合は、(13)又は(14)を選択してください。

○奨学生番号 (621又は821から始まる奨学生番号) が決定している場合
○奨学生番号 (621又は821から始まる奨学生番号) が決定している場合
○奨学生番号 (621又は821から始まる奨学生番号) が決定している場合

3

あなたが在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）である場合は、給付奨学金の内容を記入してください。

奨約日はスカラネット入力日としてください。ここで入力した誓約書を学校とし、成年判定を行います。

学生本人の氏名、金角漢字及び金角カナを入力してください。年齢が18歳以上の場合は、入力してください。（奨学金案内）40ページ「(C)の文字入力」参照。

外字は使用しないでください。

漢字氏名には「姓」「名」ともに入力できますが、カナ氏名には「姓」のみに入力してください。カナ氏名には「姓」と「名」と入力してください。

姓・名欄ともに「アベース」は入力しないでください。（ミドルネームは入力しないでください。）

姓・名欄ともに「アベース」は入力しないでください。（ミドルネームは入力しないでください。）

姓・名欄ともに「アベース」は入力しないでください。（ミドルネームは入力しないでください。）

△カナ氏名は、申込IDと同一であることが必要です。漢字の口名を記入する必要があります。漢字の口名を記入してください。

外国籍の人は奨学金案内10ページの「(C)の文字入力」に記入してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者（満了日）は、在留期間（満了日）を記入してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者（満了日）は、在留期間（満了日）を記入してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者（満了日）は、在留期間（満了日）を記入してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者（満了日）は、在留期間（満了日）を記入してください。

日本人の配偶者等、永住者の配偶者（満了日）は、在留期間（満了日）を記入してください。

在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）である場合は、給付奨学金の内容を記入してください。

在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）である場合は、給付奨学金の内容を記入してください。

在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）である場合は、給付奨学金の内容を記入してください。

「奨学金案内」28ページの「併用貸与」を希望する場合は、併用貸与を希望する1つを選択してください。

既に第一種、第二種奨学金のどちらかを貸与中（又は貸与予定）の学校に在学している場合は、併用貸与を希望する場合は、併用貸与を希望する1つを選択してください。

既に第一種、第二種奨学金のどちらかを貸与中（又は貸与予定）の学校に在学している場合は、併用貸与を希望する場合は、併用貸与を希望する1つを選択してください。

既に第一種、第二種奨学金のどちらかを貸与中（又は貸与予定）の学校に在学している場合は、併用貸与を希望する場合は、併用貸与を希望する1つを選択してください。

既に第一種、第二種奨学金のどちらかを貸与中（又は貸与予定）の学校に在学している場合は、併用貸与を希望する場合は、併用貸与を希望する1つを選択してください。

既に第一種、第二種奨学金のどちらかを貸与中（又は貸与予定）の学校に在学している場合は、併用貸与を希望する場合は、併用貸与を希望する1つを選択してください。

既に第一種、第二種奨学金のどちらかを貸与中（又は貸与予定）の学校に在学している場合は、併用貸与を希望する場合は、併用貸与を希望する1つを選択してください。

既に第一種、第二種奨学金のどちらかを貸与中（又は貸与予定）の学校に在学している場合は、併用貸与を希望する場合は、併用貸与を希望する1つを選択してください。

6

7

4/8

H-1保証制度

1. あなたが希望する保証制度を選択してください。
- (1) 人的保証
- (2) 機関保証

併願又は併用で申し込み(2/8画面O-奨学金申込情報)にて、(2)、(4)、(5)、(6)、(7)を選択した場合、かつ2/8画面F-奨学金返還情報にて第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合は、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります(人的保証)のボタンは押せません。また、第二種奨学金の保証制度はこの画面で選択します。

4/8

H-1保証制度

1. 第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。
- (1) 人的保証 (ボタンが押せません)
- (2) 機関保証

所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」になります。

2. 第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

(1) 人的保証

(2) 機関保証

5/8

I-貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1. あなた自身について入力してください。
- (1) あなたの氏名は△△ ○○さんですね。
- (2) あなたの性別を選択してください。(任意)
- (3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。
- (4) あなたの現住所を入力してください。

※申込者本人のマイナンバー(を申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力してください)。

住所1(自動入力)	住所2(番地以降)(全角文字)	住所検索
00-00000	0-0-0	000-0000

- (5) あなたの電話番号を入力してください。
- ※自宅電話番号がなければ携帯電話番号で構いません。
- (5)(半角数字) 000-000-0000
- (携帯)(半角数字) 000-0000-0000

住所の入力例

(郵便番号) 162-1-9999 [住所検索] ←押下

住所(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本町 1丁目

住所1(自動入力) ○東京都 新宿区 市谷本町 2丁目

住所2(番地以降) ○東京都 新宿区 市谷本町 3丁目

住所(番地以降) 99-9 機構ハイツ505

注意！

※番地以降全てを全角で入力してください(英数字やハイフン、スペースを含む)。

入力欄がある次の画面に進めません。

※番地以降のない住所2欄に全角で「(ビルオド)」を入力してください。

※住所2欄には、住所1欄の表示部分を入力しないでください。

上記の場合、住所1欄で「1丁目」を選択し、住所2欄に隣って「1丁目99-9...」と入力した場合、届出内容は「1丁目11丁目99-9...」となります。

※「H-1保証制度」での選択によって、[9]～[10]ページの記入する場所が変わります。

「人的保証」を選択した人 → 下記の「連帯保証人・保証人について」を読んだうえで、[9]ページの「連帯保証人と保証人について」以降を記入してください。

「機関保証」を選択した人 → [10]ページの「3.本人以外の連絡先について」以降を記入してください。

連帯保証人・保証人について

H-1保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を1人ずつ(合計2人)入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、申し出により認められる「分別の利益」等の権利があります(連帯保証人にはありません)。

詳しくは、「奨学金案内」24ページを参照してください。

また、「奨学金案内」24～26ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、[9]ページの(1)、及び[10]ページの(2)を記入してください。

もし、1つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。あらためて条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、H-1保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類(返還誓約書)には、スカラネットに入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印(実印)し、印鑑登録証明書を添付しなければなりません。スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得てください。

2. 連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

- ・(あなた(申込者)が未成年の場合は)連帯保証人には親権者(未成年後見人)を選任してください。
- ・(あなた(申込者)が成年の場合は)原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等としてください。
- ・未成年者等保証能力がない人は認められません。
- ・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

(a) その氏名

(a) 漢字(全角漢字) 姓 名

カカ(全角カナ) 707-1234

(b) その生年月日 (b) (和暦)(半角数字) 02/03/1980 年 月 日 生

(c) あなたの性別 (c) 男

(d) その住所

未成年後見人の場合は、その被保

・連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号)(半角数字) 000-0000 住所検索

住所1(自動入力) 000-0000

住所2(番地以降)(全角文字) 0-0-0

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話番号で構いません。

(e)(半角数字) 000-000-0000

(携帯)(半角数字) 000-0000-0000

その携帯電話の電話番号

(f) その勤務先

勤務先電話番号 (半角数字) 000-000-0000

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

□ 無職

人的保証を選択した人は、[10]ページの「(2)の保証人についても入力してください。」を記入してください。

H-1保証制度にて「人的保証」を選択した場合には表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金案内」24～26ページを確認してください。

郵便番号を郵便局ホームページで住所をともに事前に確認してください。

郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。[住所2]には、[住所1]で選択した住所以降を、番地等が重ならないように入力してください。

※[9]ページの「住所の入力例」参照。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と入力してください。

無職の場合は「その勤務先」には入力せず、こちらにチェックを入力してください。

1312

■一緊急・応急採用情報

1. 家計急変の事由を1つ選択してください。

注) (5)～(8)、(10)～(12)までは各事由により著しく支出が増大または収入が減少したものの。

(15)は生計維持者からの補助を受けずに、本人収入のみで就学している場合のみ。

- (1) 生計維持者が会社の倒産等により解雇または早期退職したため。
- (2) 生計維持者が死亡したため。
- (3) 生計維持者が離別したため。
- (4) 生計維持者が破産したため。
- (5) 病気
- (6) 事故
- (7) 会社倒産
- (8) 経営不振
- (9) その他生計維持者の給与収入が激減したこと等によるため。
- (10) 火災
- (11) 風水害
- (12) 震災
- (13) 災害救助法適用者であるため。
- (14) 学校廃止
- (15) 本人の収入減少及び支出増大に伴う経済困難

2. 家計急変の事由が生じた年月を記入してください。

2. 西暦(半角数字4桁) 年 月

3. 緊急採用(第一種)奨学金を申込む人のみ、希望する貸与始期を記入してください。

3. 西暦(半角数字4桁) 年 月

4. 家計基準該当事由を選択してください。

- (1) 今後1年間の所得金額が収入基準額以下になるため。
- (2) 年間の支出金額が著しく増大又は収入金額が著しく減少したため。
(この場合下記A・B欄を記入してください。)
- (3) その他上記以外の家計急変により就学継続が困難のため。

(注) 4で(2)を選択した人のみ以下のA・B欄を記入してください。

A. 事由発生以前の1年間の所得額

1) 生計維持者①

- a) 続柄 a) 年 月
- b) 給与収入等の場合 b) 収入金額合計 万円
- c) 商店・農業工業、個人経営の場合 c) 収入・売上金額合計 万円
- 所得金額合計 万円

2) 生計維持者②

- a) 続柄 a) 年 月
- b) 給与収入等の場合 b) 収入金額合計 万円
- c) 商店・農業工業、個人経営の場合 c) 収入・売上金額合計 万円
- 所得金額合計 万円

B. これまでに特別に支出した額、またこれから特別に支出が見込まれる額を記入してください。(家屋・家財復旧費、医療費等)

事由 金額

(例: 台風による家屋の損壊)

これまでに 万円

全角10文字以内

これから 万円

※例えば、家計急変が2021年5月、申込が2021年8月の場合は以下の通り入力してください。

入力項目	該当期間	例
これまでに特別に支出した額	家計急変時～申込時点までにすでに支出した額	2021年5月～2021年8月
これから特別に支出が見込まれる額	申込以降～家計急変から数えて12か月後までに支出が見込まれる額	2021年9月～2022年4月

(注)

この情報欄は、申込画面においては7/8画面の「一家庭事情情報」欄の後に表示されます。

緊急採用・応急採用の申込者のみ記入してください。

(9) その他上記以外の事由により給与収入が減少した場合選択してください。

(13) この事由により申し込む場合は被災(罹災)証明書を学校へ提出する必要があります。

(15) この事由により申し込む場合は学校で認定を受ける必要があります。

貸与始期は、家計急変事由が生じた年月(申込みから12か月以内。入学した月を限度として遡及可)以降を選択してください。休学、留年に相当する間を貸与始期にすることはできません。詳しい条件は「奨学金案内」8ページを参照してください。

応急採用(第二種)を申し込む人の貸与始期は、6ページ「奨学金貸与額情報」2.(4)に記入してください。

4. 上記1.(家計急変事由)で(1)～(4)、(7)～(9)を選択した人は(1)を選択しA欄を記入してください。

(5)～(6)、(10)～(13)、(15)を選択した人は(2)を選択し、A・B欄を記入してください。

(14)を選択した人は(3)を選択しB欄を記入してください。

A. 事由発生以前の1年間の所得状況について、収入証明に基づいて入力してください(必須)。父母のうち主として生計を維持している人を1)に入力してください。2)には、1)で入力した人でない方を、必ず入力してください。収入「0」の場合は、b)給与収入等「0」万円と入力してください。※一人親の場合は2)の入力は不要です。※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人(祖父母・おじおば等)がいるときは、そのうち主に生計を維持している人のみを1)として入力してください。2)の入力は不要です。生計維持者については必ず「奨学金案内」12～13ページを確認してください。

家計急変後の収入(年収見込)は、J-あなただの家族情報に入力してください。

B. 病気・事故・火災・風水害・震災により、生命・損害保険等を受けてもなお、支出が著しく増大した等を事由とする場合、証明書に基づいて、支出事由を明らかにしたうえで、これまでの費用とこれからの支出見込額を入力してください。